



消防ロボットシステムによる 特殊装備小隊の発足

市原市消防局消防総務課

令和元年5月24日（金）市原市消防局において、消防ロボットシステムによる特殊装備小隊【スクラムフォース】の発足式を、JXTG エネルギー株式会社千葉製油所で行いました。

★市原市消防局に配備された背景

総務省消防庁は、石油コンビナート等において特殊な災害が発生し、消防隊員が現場に近づけない状況において、災害の拡大抑制を行う消防ロボットシステムの研究開発を、平成26年度から5年計画で進めてきました。そして今回、実戦配備型の消防ロボットシステムが完成し、国の無償使用制度により、全国で初めて市原市に配備されました。



黒田消防庁長官挨拶



毎分4,000リットルを超える放水砲ロボット
(ウォーター・キャノン)からの放水



スクラムフォースを収容する車両

★スクラムフォース紹介

スクラムフォースは、飛行型偵察・監視ロボット、走行型偵察・監視ロボット、放水砲ロボット、ホース延長ロボット及び指令システムで構成され、すべてが1台の車両に積載されています。それぞれのロボットが自律的に活動し、収集したデータを指令システムが解析して消防隊員に最適な消防活動を提案してくれます。

東日本大震災での市原市 LPG 貯蔵施設の爆発火災や、姫路市の製造所での爆発火災の教訓を踏まえ、消防隊員が現場に近づけない状況において、より安全に、より効率的に災害に対応します。

ロボット同士のチーム感、チームワークが伝わる名前に。4機のロボットが力「force」を集結してスクラム「scrum」を組み、ミッションを遂行する姿を表現しています。

スクラムフォースを構成する各ロボット



★市原市消防局の抱負

近年、異常気象や地震による大災害が発生し、今後も南海トラフ巨大地震や首都直下型地震などが予想される中、市民の安心・安全を守る消防機能の充実強化として、全国初の最新鋭部隊の発足により、更なる精進をしております。